

# 競技注意事項

1 本大会は、2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって行う。

## 2 競技場使用上の注意

- (1) 競技場への入退場は、すべて係員の指示に従う。
- (2) 競技者・役員以外は入場を禁止する。（監督・引率者・付添いの者などは一切入場禁止。観戦は必ず芝スタンド・管理棟両脇スタンドにて行う。）
- (3) 決勝線到着後の競技者の退場については、第1ゲートとする。また、フィールド種目の選手については、第1ゲート及び第4ゲートとする。

## 3 選手の招集について

- (1) 招集所は正面スタンド南側（100mゴール付近、用具庫内）に設置する。
- (2) 簡易招集完了時刻、招集完了時刻は競技日程の通りとする。
- (3) 競技者は簡易招集完了時刻までに招集所で簡易招集（丸つけ）を行うこと。なお、決勝に進出した者は、再度招集所で簡易招集（丸つけ）を行うこと。また、招集完了時刻までに競技開始場所（トラック種目はスタート地点）で最終点呼を受ける。（トラック競技者は、招集所で腰ナンバーを受け取る。また、リレーは第4走者のみ腰ナンバーをつける。）
- (4) フィールド競技については、ピットでの練習後に現地で招集を行う。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (6) リレーについては、それぞれの競技場所に移動し、最終点呼を受ける。
- (7) 混成競技については、3種目とも（3）の通りとする。
- (8) 欠場する場合は、当該種目の簡易招集完了時刻までに、顧問が欠場届を招集所に必ず提出する。（用紙は招集所に用意する）
- (9) 招集所には選手以外は入場できない。（いわゆる「付き添い」の禁止）
- (10) 複数種目に出場し、競技時間が重なる場合には事前に多種目届けを招集所に提出する。（用紙は招集所に用意する）
- (11) 商標等の規則については「競技会における広告及び展示物に関する規程」を確認し、競技に臨むこと。（招集所から学校指定のジャージを着用することが望ましい。）

## 4 アスリートビブスについて

- (1) 福島陸上競技協会登録アスリートビブスを胸・背に付けること。ただし、走幅跳・走高跳・棒高跳に出場する競技者は、胸部又は背部のどちらか一方だけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者（リレー競技はアンカーのみ）は、写真判定用の腰ナンバーをパンツの右横やや後方に取り付けること。

## 5 競技運営について

- (1) スタートはイングリッシュ・コマンドで行い、不正スタートをした競技者は1回目で失格となる。混成競技については、2回目以降の不正スタートで失格となる。
- (2) トラック種目には1000分の1秒で着順判定をする。それでも同着の場合は抽選とする。
- (3) セパレート競技において、決勝線到達後は自分のレーンにそって走り抜けること。
- (4) リレー競技のオーダー用紙は、招集完了1時間前までに招集所に1部提出すること。用紙は招集所に用意しておく。また、4人が同系色のユニフォームで出場すること。

## 6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

		練習	1	2	3	4	5	6	7
走高跳	男子	1 m 3 0 ・ 5 0	1 m 3 5	1 m 4 0	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 6 0	以降 3 c m
	女子	1 m 1 5 ・ 3 5	1 m 2 0	1 m 2 5	1 m 3 0	1 m 3 5	1 m 4 0	1 m 4 5	以降 3 c m
棒高跳	男子	1 m 9 0 ・ 2 m 4 0	2 m 0 0	2 m 1 0	2 m 2 0	2 m 3 0	2 m 4 0	/	以降 10 c m
	女子	1 m 4 0 ・ 1 m 9 0	1 m 5 0	1 m 6 0	1 m 7 0	1 m 8 0	1 m 9 0		以降 5 c m

- (1) 両競技とも最後の一人になるまでは上表の通りとする。なお1位確定後は、本人が申告した高さで競技をすることができる。
- (2) 1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2 c m、棒高跳では5 c m単位とする。

## 7 用器具について

競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人所有の物を使用することができる。（競技開始前に現地で検定を受け合格したものに限る。）

## 8 学校・チーム対抗について

学校・チーム対抗は各種目の8位までを入賞とし、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点として点数の合計により決定する。総合優勝については同点数になった場合は、優勝種目または上位入賞種目数の多い学校・チームが上位となる。優勝以外は同点とする。

## 9 表彰について

- (1) 各種目の8位までに賞状を与え、3位まではメダルを授与する。
- (2) 男女の混成競技3位までにトロフィーを授与する。
- (3) 男女総合優勝校には優勝旗を、8位までの入賞校には賞状を授与する。
- (4) 最優秀選手賞として男女各1名を表彰し、トロフィーを授与する。
- (5) 各種目の表彰は行わない。表彰受付（管理棟正面入り口）に賞状とメダルを準備するので取りに来ること。ただし、学校対抗は競技終了後に主催者より優勝旗を授与する。

## 10 その他

- (1) シューズの規定について（TR5）

1 0 0 m～4 0 0 m（ハードル含む） 2 0 mm

8 0 0 m～3 0 0 0 m 2 5 mm

フィールド 2 0 mm

※ 全員のシューズチェックは不要

WA承認リストのシューズを使用していることを前提に招集所や受付にてチェックは不要となる。

ただし、審判や審判長の権限により求められた場合はシューズをチェックする。チェックの内容としては、TR5. 13. 3（国内TR5. 2）にある厚さ等を確認する。違反と疑われる者はレース後、失格の判定を受ける場合がある。

※ フィールド競技用シューズのTR5. 5 適応除外措置について

2024年10月31日までは、市販されているフィールド競技用のシューズについては適応除外となる。

- (2) 携帯電話やトランシーバーなどの通信機器の競技場内への持ち込みを禁止する。また、通信機能がついている時計等を身につけて競技することはできない。